

ジェンダーと法

科目コード	4003489
学習センター	奈良学習センター
学習センターコード	29A
クラスコード	WK
科目名	ジェンダーと法
科目区分	専門科目:生活と福祉
ナンバリング	320
定員	80名
担当講師	ミツナリ ミホ 三成 美保 (追手門学院大学教授)
日程 実施時間	2026年10月31日(土)第1時限 10:00~11:30 2026年10月31日(土)第2時限 11:40~13:10 2026年10月31日(土)第3時限 14:00~15:30 2026年10月31日(土)第4時限 15:40~17:10 2026年11月01日(日)第1時限 10:00~11:30 2026年11月01日(日)第2時限 11:40~13:10 2026年11月01日(日)第3時限 14:00~15:30 2026年11月01日(日)第4時限 15:40~17:10
実施会場	この授業は、【ライブWeb授業のため自宅等(学習センターでの受講は不可)】で行います。

授業概要

【授業内容】

ジェンダーの視点から、歴史と比較をふまえて21世紀日本社会の現状と課題を問い直します。日本国憲法は、世界でも先進的なジェンダー平等条項(24条)を定めました。しかし現実には、「夫稼ぎ主型」核家族が急速に広がり、性別役割分担が固定化されていきます。国際社会では1990年代以降、急速にジェンダー平等が進みましたが、日本はその流れに大きく遅れをとりました。21世紀の日本はジェンダー平等停滞社会になっています。意識が社会をつくるのではなく、社会の構造が人々の意識を形づくります。まずは、問題がどこにあるか、知ることから始めませんか。

【到達目標】

21世紀日本社会のジェンダー状況を国際比較や歴史的変化を示すデータを用いて理解し、今後の課題を的確に判断できるようになる。

【授業テーマ】

第1回「男らしさ」「女らしさ」は法や政治とどう結びつく？—あなたを縛る「常識」を問い直そう
第2回家事も育児も「タダ」なの？—「アンペイドワーク(無償労働)」について考えよう
第3回「働いて、働いて…」誰が得する？—日本は過労死大国
第4回姓は誰のもの？—夫婦同姓を強制するのは世界でいまや日本だけ
第5回暴力は「親しき仲」にあり—DV・レイプ・ハラスメント「誤解」「勘違い」は言い訳になりませんか！
第6回好きになるのは相手そのひと—LGBTQ+の人びとの「幸せになる権利」は誰にも奪えないはず
第7回子どもたちのために何ができる？—人口減少社会(少子化)を不幸にしないために
第8回あなたならどうする？—いまのあなたのために、子どもたちの世代のために、何ができるか、意見交換してみよう

【学生へのメッセージ】

この授業は「自分で考える」ことを目指します。授業ではそのための手がかりとなる最新の情報を提供します。

授業の最後に10分ほど質問タイムを設けますので、自由に質問してください。チャットでの質問でも対応します。

授業最終日にはグループ討論をし、その成果を発表してもらいます。活発な意見交換を期待しています。ただし、全員が意見を言えるように、一人が発言時間を独占しないようにしてください。論理的にしゃべれなくてもいいこうにかまいません。あなたの思いを言葉にすれば大丈夫です。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは以下です。

《課題》

授業で取り上げたテーマのうち、あなたが最も関心をもったテーマにつき、A4用紙1枚程度で書いてください。そのさい、以下の(1)~(3)について言及してください。

- (1) タイトル(自由に設定してください)
- (2) 授業を通してあなたが学んだこと・考えたこと(グループワークの成果を反映してもかまいません)
- (3) あなた自身の意見

【受講者が当日用意するもの】

インターネット環境のあるパソコン(タブレット端末やスマートフォンは推奨しません)、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。

【教科書】

教科書は使用しません。

【参考書】

・ジェンダー法学入門(改訂版)(三成美保・笹沼朋子・立石直子・谷田川知恵/法律文化社/¥2,750)
2026年3月出版予定

【その他(特記事項)】

Webカメラの準備を推奨します。

「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配付、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム(LMS)上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題(レポート等)を提出します。

受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。

<https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/>

授業は、パワーポイント(カラスライド)を使います。事前に授業スライドをPDF資料として配付します。必要に応じて、各自でパソコンに保存するか、印刷(プリントアウト)してください。受講にはパワーポイントのソフトは不要です。テーマ別参考文献は授業資料でお知らせします。

◀ 戻る

このページの先頭へ ▲